

## 令和6年度教育研究活動報告書

氏名	栗田 広暁	所属	経済情報学部経済情報学科
学位	博士（経済学）	職位	講師
専門分野	財政学		

I 教育活動	
本年度担当科目	
	授業科目
学部	財政学1、財政学2、専門演習2a、専門演習2b
大学院	財政学特論
II 研究活動	
現在の研究テーマ（3つまで）	
（1）所得税、住民税、社会保険料の実証分析	
（2）財政学からみた尾道の特色について	
（3）	
本年度を含む過去3年間の研究業績 R6・R5・R4	
R6	〈論文〉 “Estimation of the Elasticity of Taxable Income Using Japanese Tax Return Data”、共著、Annual Congress of the International Institute of Public Finance報告論文、2024年8月 〈 〉
R5	〈論文〉 「課税所得の弾力性の推計」、共著、日本財政学会報告論文、2023年10月22日 〈 〉
R4	〈 〉 〈 〉
R3以前の主な研究業績	
（1）〈論文〉 「わが国における2010年代の個人所得課税の改革に関する研究」、単著、2020年、慶應義塾大学、博士論文	
（2）〈論文〉 「扶養控除廃止縮減による実質的な増税が家計の消費行動に与えた影響の分析」、単著、2017年、『財政研究』第13巻 pp.156-176、査読あり	
（3）〈論文〉 「扶養控除額の変化が所得税の限界税率を通じて家計に与えた影響の分析—税引き後弾性値の推計—」、単著、2019年、『財政研究』第15巻 pp.181-193、査読あり	
（4）〈 〉	
（5）〈 〉	
学会、所属団体における活動（本年度を含む過去3年間の研究業績） R4・R5・R6	
所属学会・所属団体 役職等と任期	
日本財政学会、日本経済学会	